伊藤圭介稿

植物図説雑纂

○ □

別 6
9
153

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』 請求記号 本別6-9

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

吾覽吾友碩山屬筆作豆腐論過
余示之余觀之以波斯非為是
以波斯是為非譎言詐語辯
人心方處是斯起乎歟也嗚呼

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

蔵腐論序

古之著書也或起乎感或起乎
怨故文王拘而演周易仲尼厄
而作春秋屈子賦離騷不韋傳
呂覽吾友碩山屬作豆腐論過
余示之余觀之以被耶非為是
以彼耶是為非聱言齟齬嘵嘵
人心方處是耶起乎感也嗚呼

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

有豆腐論督証言之慮有証言之慮而豆腐論成焉愈高成而語愈奇愈高非老又厥誰克之余不顧不敏游請而序其巻端

九園

冬十月穀旦

山大寧　撰

淮南王厨下物者天之所造也何如則其雪花菜陪其菽也甚矣是其證也余曰於戲言之不通也其為菽也剛矣漬之水則陪而柔也烹之則忽焉陪也甚矣是可謂定理也豈彼支裔之所為焉哉

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

有豆腐論督証言未慮有証言
未慮而豆腐論成焉成而語愈
奇愈高非老又厥誰克之余不
顧不敏游請而序其巻端

九園

冬十月穀旦

山大寧　撰

菽腐論

或謂余曰淮南王厨下物者天
主教支裔之所造也何如則其
雪花菜陪其菽也甚矣是其證
也余曰於戯言之不通也其為
菽也剛矣漬之水則陪而柔也
烹之則忽焉陪也甚矣是可謂
定理也豈彼支裔之所為焉哉

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

伊藤氏藏書

菽麋論

全

譬如烹米而爲飯於厥飯亦陪其米豈奇怪哉如吾子之橦伎排戲是奇驗之法也雖然人奇之而不怪之可謂朱愚也吾子胡以淮南王厨下之物獨謂彼支裔歟嗚呼不通哉言邪願勿復謂爲夫天主教之制禁儼然重矣彼宗亂以還聖淨二門之

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

嗜之不衰者
再二未解之
玄雷

十二月朔

[illegible]

諸宗既定檀緣之數人靡晰然
所紊故若撞枝排戲等亦皆有
功德院矧亘腐家乎是以寺主
為明徵款印以奉廠簿冊于官
府而后官主宛然識察之亦又
研究則已矣故於淮南王厨下
物也非奇惟明矣余亦性嗜之
雖皤々耆老無前齒牡齒亦克

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

食之故余姑名之謂養老百藥
之長豈彼支裔乎豈彼支裔乎
客卷舌顧左右而退、

六、化甲子斐六月哉生明
九圍後豐沙門德風碩山
書于信陽上田下邑鹽尻
地藏山福生院。

黄大豆　コメ

六月黄ナッコノ五六月ニ熟ス豆小ニシテ味不美多クノ豆腐ニ製ス九穀
考曰南方大豆在春社前後下種夏至時結莢六月穫者吉山徼
人呼為六月黄　熊野物産学初志一

大豆（ダイズ）
白大豆　附直者志書　豉豆（カラトウトウマメ）　豆腐　醤（ヒシホ）

蔓大豆（ツルマメ）　近江国山田村中往々有之形大豆ノ如く蔓を為て生ス
玉人民小益あるそのあて吹ひ

○和名抄ニ鳥豆をくろ𦾔め鷄豆をそびまめ珂拏豆をのぐまめとまめちごまめ蔓豆我あぢ𦾔め豌豆をもそびまめ又鵐豆あり詩ニ𦾔豆あり詩ニ𦾔豆あり詩ニ𦾔

○マメ　オホマメ
　シロマメ　ダイヅ
Glycine Hispida maxima

大豆
黄大豆

十七綱
三日

国立国会図書館　　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

クロニメノモヤシ

大豆黄巻
大豆巻 千金方 外臺秘要

巻蘗 新修本草 黄巻皮 同上
豆芽 本草綱目 始

[釋名] 豆蘗
名義曰黒大豆為蘗芽生五寸長便見定名若黄巻用之蒸過
服食除煩須 時珍曰一法生発曰以井華水浸大豆候出芽取
皮陰乾用之

荚豆ノモヤシハ荚蘗山ニテ養(ケン)蘗(ケツ)トモ油アゲニシテ粗理ニ用フ
薩州ニテモ専ニ用ユ麥(ムギ)蘗(ケツ)ノ如クニ製スレバ甚リテ生ニ難シ豆ヲ
地ニウエテ芽ヲ採ルヲ佳ナリトス又藁(ワラ)ノ上ニ豆ヲ撒(マキ)上ニ藁ヲ
覆ヒ陰水中ニ方(カタ)ケバ生ニヤスシトモ食用ハ皆苦ヲ芽ナリ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

本草

黄大豆
大以豆　志呂末女　美曽末女
城市村落莫問不有焉苗高二三尺葉以三葉為
一叢而互生形美異黒大豆葉凡大豆有早中晩
三種其早者六月上旬下種八月上旬成熟俗呼二十日
十日其次者土用過二十日而成熟俗呼三十日
其次者土用過四十日而成熟為之晩豆
一種有呼仙臺豆者円大而八月成熟
一種有呼福豆者円小而八月成熟

加知久里末女
大紫豆類也其豆比久里末女則微小其色淡紫
赤而味不甘美

ダラアル物ヲバ此ヲ干リメンヨ
又ウズラマメ庄云黒豆ヨリ大ニメ扁ク
シテマハリクロク斑ラノ数
アリ又赤班ノヲアカウヅラ又ツ子
ノヲ白ウヅラト云此ヲ漢名斑豆ト
云又一黒豆テマン中ニシロキトコロノ
クラノ如クナルヲ此ヲクラマメト云
黒豆ヨリ大ナリ又コイシ豆ト云キノ下ノ
此ハ黒ク大ニメニラメシ此ハ本草豇
言ニアリ　雪鳥豆ト云ト
又ヤマ

本草

〇大豆

大豆　マメノ惣名ク黒マメヲサシテ大豆
ト云大豆大和本草ノハ白マメヲハサシ
テ云ヘリ日本ニテ大豆ト云ハ大豆
ヲリヤクシテ云ヘリ黒豆ニ二種ア
リ女ト男トノニツナリ女ハ丈イナ
リ又男ハ形小細ニシテシマリトモノヲ男
トスルナリ男ノ方ヲバ薬用ニスル十
リ又イタツテ小ナルアリ漢名穭豆ト
云此ハ洛東ノ二軒茶屋ノ客ニ食スル
大豆ダイズ白黒
タムフル日本中ノ部

ノヲ白ウヅラト云此ヲ漢名斑豆ト
云又一黒豆テマン中ニシロキトコロノ
クラノ如クナルヲ此ヲクラマメト云
黒豆ヨリ大ナリ又コイシ豆ニキノ下タ
此ハ黒ク大ニメラメシ此ハ本草豪
言ニアリ雪鳥豆ト云トリ又アヲ

本草

黄大豆
太(ダイ)豆　志呂末女　美曽末女

城市村落莫問不有焉苗高二三尺葉以三葉為
一葉而互生形莫異黒大豆葉凡大豆有早中晩
三種其早者六月上旬過二十日而成熟俗呼二
十日其次者上旬過三十日而成熟俗呼三十日
其次者上旬過四十日而成熟為之晩豆
一種有呼仙臺豆者円大而八月成熟
一種有呼福豆者円小而八月成熟

赤豆和名阿加末女美

豆ナリ下品ナルノモナリ又コマカキマ
ダラアル物ヲバ此ヲチリメント云也
又ウズラマメ斑黒豆ヨリ大ニメ此ノ
ミテマハリクロク兩方ニウヅラノ数
アリ又赤班ノヲアカウヅラ又ツ子
ノヲ白ウヅラト云此ヲ漢名斑豆ト
云又一黒豆テマン中ニシロキ
クラノ如クナルヲ此ヲクラマメト云
黒豆ヨリ大ナリ又コイシ豆ト云キノ下ノ
此ハ黒ク大ニメニラメシ此ハ本草豪
言ニアリ　雪鳥豆ト云ト

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

マメアリ中ノアヲキヲバメコ
シリンザイ 緑豆 宗奭カ説也 青豆 琦珍
カ説也 大豆一名 大黒豆 雲南通志 荏菽
事物異名 五藏穀 發明之下

〇大豆黄巻

大豆黄巻 マメノモヤシクロマメデコシ
ラエル也又黄大豆テツクルヲ有通ニカキ
カエテ大豆巻 千金方 大豆黄 同上 一名
黄巻 政和本草 豆芽 泉州府志

〇黄大豆

黄大豆 白マメ ミリマメ

クリマメ

ヒワダマメ クワシマメ ナラテヤさ
メスゴシ茶色ヲ帯此ヲ褐豆ト云ナ
ツマメト云テナツジユクスルフハセマ
メナリコレヲトウフニスル此ヲ
梅豆 月令通考 五月黄 天工開物 半夏黄
楊州府志 秋ジユクスルヲ秋豆ト云此ヲ
九月豆 漳州府志 穀秋豆 証治要決 雁來
枯 楊州府志 冬黄 天工開物 黄大豆一名大
黄豆 建陽縣志 豆油マメノシボリシ
ルノナリ 俗ニゴトト云ナリ

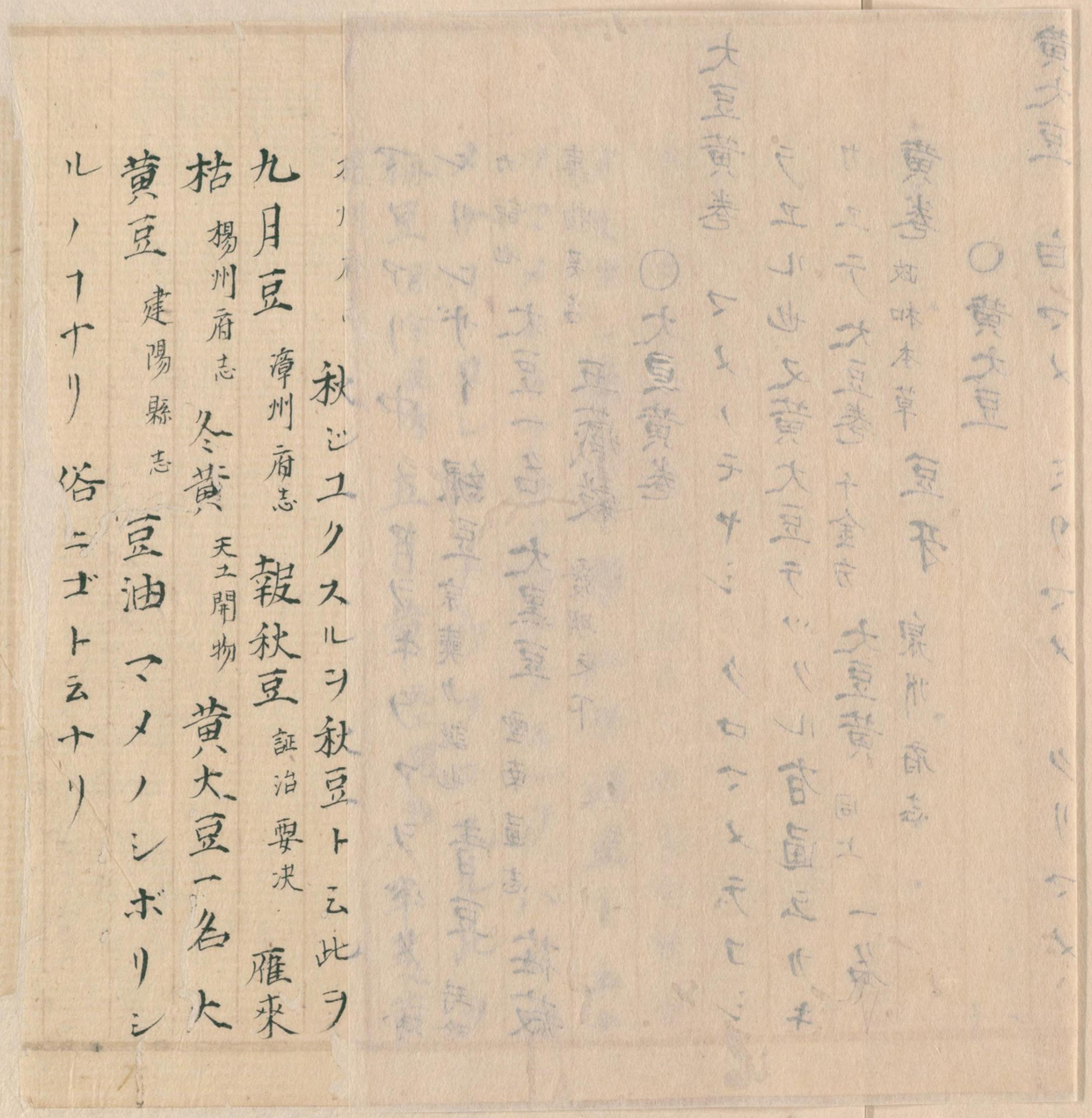
ヒイトユバヒヲ云 豆腐ノ一名 菽乳 平

斎集

豆芽菜

翻二将農譜一入蔬経一角穀何縁化二茅草一活水奄奄
分一覓處靈芽寸寸陽一塵生銀絲鮮膾難レ方潔青
井泥芥未一許清課得園官舊坊巷嬉腰一帯桔
槔聲

梁同書



黄大豆

○黄大豆

黄者 処処有之 本草 豆有二黄黒青斑一 黄大豆者 十余古方 大豆ト云ハ大豆黄者ヲ云ヒ少シ小ナル大豆ヲ黄大豆ト云ヒ又大豆黄者ヲ云ヒ大豆ト云ヒ

○大豆黄者

如豆芽菜卜云八豆ノモヤシナリ

雁腸子　不詳

一種有呼目白呼目黒者皆
九黄大豆其用最大也煮熟黄大豆搗之為味噌
日々食之又為醤油世人亦以立春節熬焦黄大
豆擲屋中以禳疫鬼俗呼歳越豆此事上自天子
下至庶人亦古老相傳春夏間雷初響此時食歳
越豆則免其禍云

故荒野謙啓蒙

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

如豆芽菜ト云ハ豆ノモヤシナリ

雁膓子　不詳

赤羽野譜啓蒙

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

郵便報知新聞第五千九百九號附錄　明治二十五年六月二十九日

商況物價

（六月廿八日）

◉各地米況電報

○大　阪　八月期昨止七圓三十九錢　八月期本日寄附七圓三十八錢前止七圓三十九錢後場七圓四十錢五厘

○名古屋　八月期昨止七圓三十三四錢　八月期本日寄附七圓三十三錢跡五六錢早引止并錄新物七圓三十四錢　八月期昨止七圓三十錢五厘

○桑　名　八月期本日寄附

○兵　庫　八月期昨止六圓九十六錢　八月期本日寄附六圓九十七八錢

◉本日正米市場出來直段

本石米一斗四升七合銅米一斗五升二合最上米一斗四升二合本庄米一斗五升一合納米一斗四升四合加瀨古米一斗四升四合江州米一斗三升四合明刕米一斗三升七合信濃古米一斗三升五合美濃米一斗三升七合尾張米一斗三升四合三州米一斗三升六合五勺下總米一斗三升九合土州米一斗三升常州米一斗三升二合行方米一斗三升二合同米一斗三升七合南蒿大豆二斗四升五合

◉兩市場出來高

深川本日一万八百六十二俵　蛎殼町本日千八百十俵

◉繰濱相撲標（秩祿金額五十圓）

○本場第一回　六月限　七月限四十二圓　八月限四十二圓五十錢

○本場第二回　六月限　七月限四十一圓三十錢　八月限四十一圓八十錢

○二場第二回　六月限　七月限四十一圓二十錢　八月限四十一圓五十錢

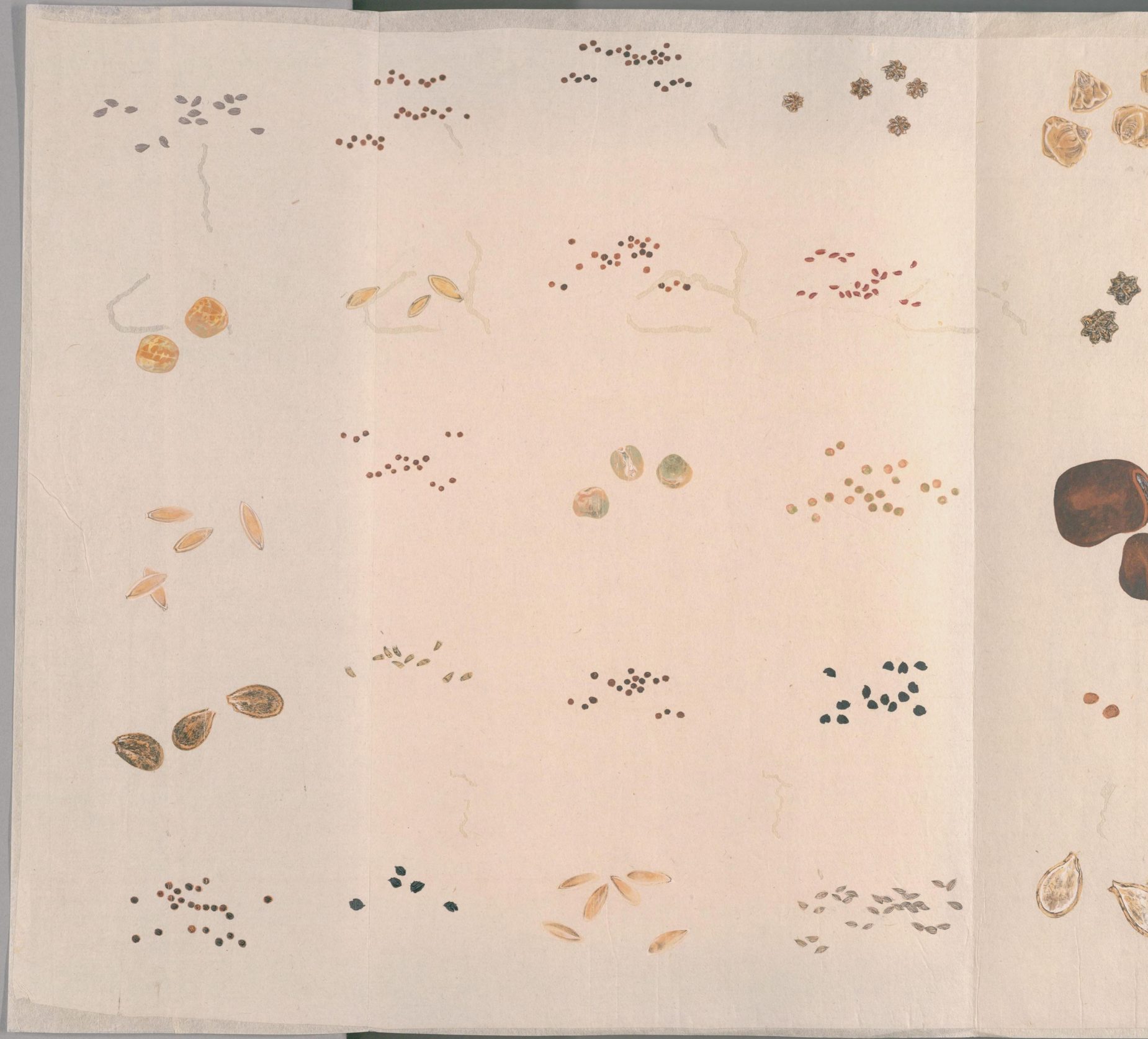
◉注意　右項中に見出を載せざるもの又は非賣買品若くは其賣買來らざりしものと雖も其品の立會中記載なきものは其開會上賣買出來たりしものと知るべし

◉編輯餘　愛許盆前仕入として昨今迄多少商動きあり從て氣配も幾分綵上向くべき傾合するも何樣此程中霖雨の爲更に引立さるのみならず都て不味を加ふる如き景況あれば從て製造品の關事とさる

九黃大豆其用最大也惠熟黃大豆搗之爲味噌日々食之又爲醬油世人亦以立春節熬焦黃大豆煮濃中以禦疫癘俚俗歲越豆此事上自天子下至庶人亦古老相傳眷更閒雷初響此時食厥趁豆則免其禍云

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

雪 壬午修寫

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

菽類

黒豆 クロマメ　春種烏豆 ワセクロマメ

ニ先テ熟シ四五月毛豆トナシ世ニ出シ後黒豆トナル齊民要術作漿用春種烏豆ト云ヘル此也

若山述御ニ殖諸豆

黄大豆 シロマメ　○八月白 九穀考 小八月実長短二種アリ

早ク熟ス　○錫杖 實短ノ苗低ク生スルヲ（ナカラ）也 桜豆多ク重

リ生ス　○九月豆 漳洲志有 ツルマメ苗高クメ地ニ塌スルモアリ實梢ニ生ス九穀考ノ冬豆也

○六月黄 九穀考 ナツマメ　五月ニ熟ス豆小也豆腐ニ製ス

九穀考曰南方大豆在二春社前後下種夏至時結莢六月穫者吾微人呼為二六月黄一其八月白冬月穫者為二冬豆一

○又秋ニ至テ熟スルモノヲオノ〳〵豆アキニメト云
味醤ノ製スルニ用ユ故ニミソニメト云

穀象豆　痘治要訣　九月豆　草州府志　雁来粳　郡州府志
杉社黄　日上　冬黄　天工開物

○ニメノアブラ　ニメノゴ　農家

豆油
穀物ノトメニ用ユ醤ノ條ニ豆油トハ別ナリ
大和本草ニ醤油ノ豆油ト為スハ誤也醤ハ通名也

油漿舗　ヤマヒヤ
佐賀藩

栗豆　里大豆　荒ノ　穀物素
登　梅其子有大小數品與倭產無異　琉球土名大
黒豆

○青豆有○あをまめ云是又大小有又青くして彩と
すしの梅(うめ)ニ代ル夏大ニシテ早ク熟スル物ヲ云二月植ル四月
食ベ頃ニなるまめニ是ニ黄大ニの種類ニ又別種ニも
早晩あり○栗豆和俗の名ニ而ニ莢紫褐ニして幸の
大ニすゝ大小ニして丸し味栗の如しそよし味噌ニ作て味
よし

なんどうもや　料理秘集三

摺鉢よ多八ふ八砂四ふ八ぶ人ど
へ八一夜越て芽出るをとりて用也

黒豆汁　料理秘集四

黒豆多ユ漬て時ハ早くせる芽をとり汁ま用ゆ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

Rii 28

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

綠大豆　掌隆物産考

青豆（アヲマメ）　名（キナコマメ）　支奈古末女（今名）

今處々多種之此豆以肉外倶色青蒼者為上品

一種有粗円小而色深綠者為最上第一品

一種有皮色青肉色白者為下品漢名青皮豆（有志）

一越後ニテ砂山ノナダレニ黄大豆ヲ立時キ其苗ヲ八九寸位ニナリタルヲ手ニタバネ壺ルアリ煮附或ハ漬菜アタリ葉頭菜ニ似テ陸ニ生ス

山高君話

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

豆　クセマメ

メニキリマメ　ノワシマメ

穭豆
料豆日

小黒豆　群芳譜
馬料豆　本草綱目

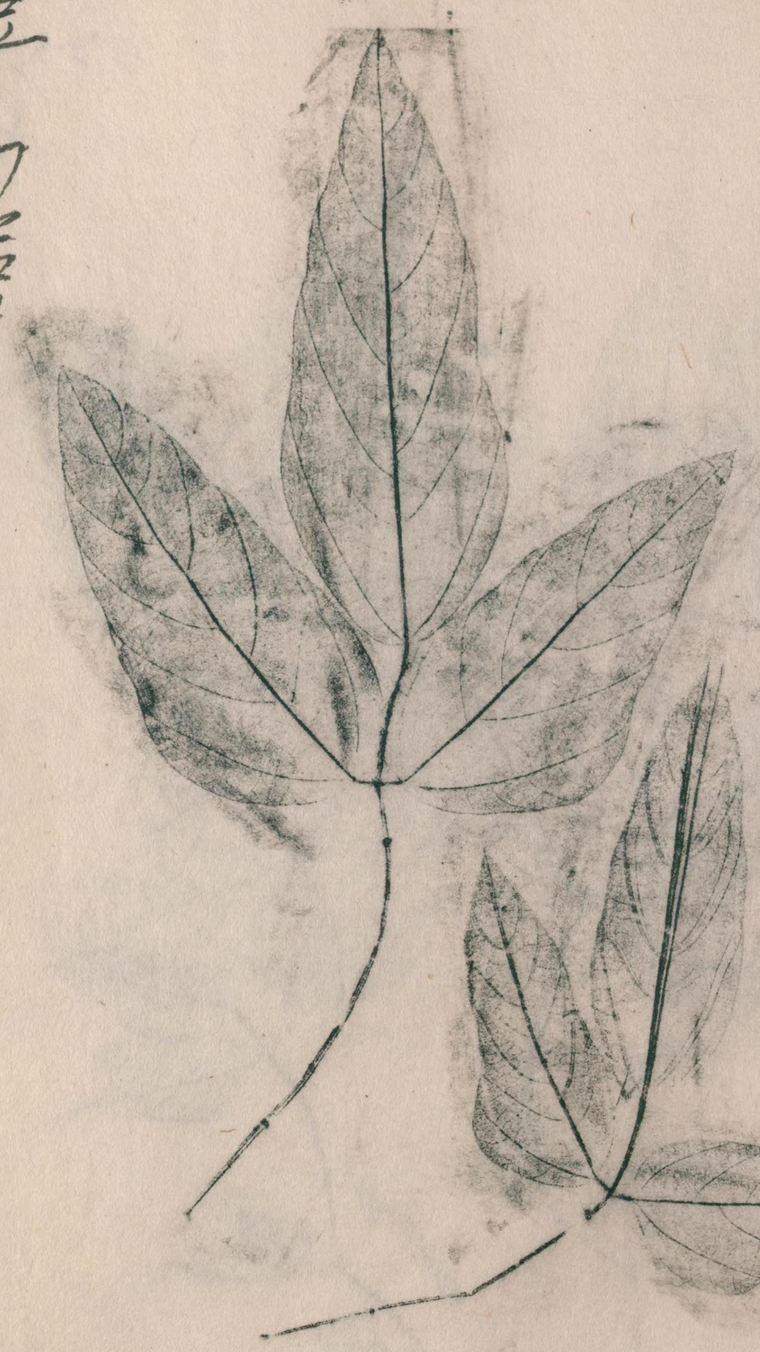
細黒豆　本経逢原
小馬料豆　丹方彙編

釋名　時珍曰穭乃自生稲名也此豆亦是野生故名今人
亦種之于下地矣

カタクシテ味不佳也

穭豆　メンキリマメ　クロマメノ至テチヒサキ物ナリトク生下品ノ黒豆ナリ苗モ小ノワシマメ
軒茶屋ニ遣豆ナリノマメトハ大ナル類ノ鹿飯ニモ非ナリ和名同シ名ナル物ナリ漢名鹿
霍　穭豆ノ一名　細黒豆　料豆　尼一本
至逢原　小黒豆　群芳譜　馬料豆　本草綱目　讀

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用



小黒豆　群芳譜
馬料豆　本草匯言

細黒豆　本経逢原
小馬料豆　丹方彙編

クワジマメ

釋名　時珍曰穭乃自生稲名也此豆有是性故名今人
　　呼穭之于下地矣

カタクセニ味不佳也

穭豆　タンキリマメ　クロマメ

サキ物ナリトク生下ル者ナリ雄豆ヨリモ小ナリ苗モ小クノ
軒茶屋ニ遣豆ナリノ一名ニ同名アリ柔滑類ノ麁飯ニモ
非ナリ和名同シ名ナル
霍　穭豆ノ一名　細黒豆
全逢原　小黒豆　群芳譜　馬

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

ワセマメ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

代匝記云扁豆なるへし和名抄蔦豆アヲマメ籬上豆之蔦ハ
蔦の誤なるへし蔦豆白扁豆本草小並記して其物も同種異
色とこゝえて本邦の隠元豆なるへしカキマメまたフチマメヒラマメ
ともふ方言なるら両種とも唐土にも有名なよし黄檗の祖師の
持渡りしと云ハ非なるへし

シロマメ
ダイヅ

黄大豆

大黄豆　建陽縣志
　　福州府志

ミソマメ

マメ

俗ニシロマメト呼ベル色ノ白カラズ黄色ヲ帯ル三春山ニアル黄
豆ト云漢名ニ白豆ト云ハシロアヅキナリ黄豆ニハ夏秋ノ二種
アリ
早ク熟スルヲナツマメト云遅ク熟スルヲ秋マメト云
梅豆　自會通及　半夏黄　福州府志　春豆　泉州府志
五月黄　天工開物　六月爆日上　六月白　華亭縣志

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

穭豆　本陸物考

夲草支里夫女（キリマメ）　夲草菜部　菜子豆
（鹿薹同名）

今村落稀有之莢如赤小豆而茎引蔓延引花謝
結莢子田小而色黒時珍曰此即黒小豆也是也

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

シヤボン豆　赤

蔬

安慶府志　巻五

豆之總称種名不一産早点不一各有土宜気候農家介辨種之

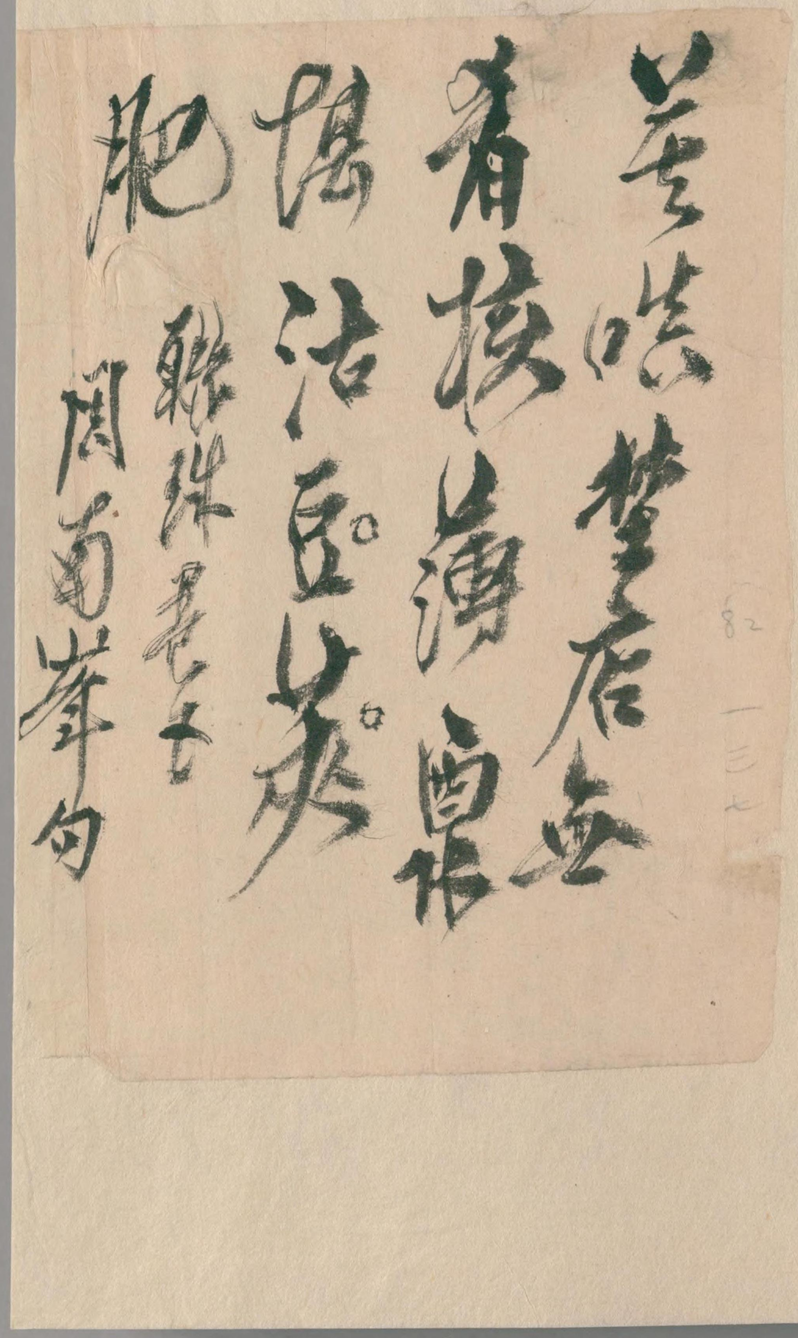
大豆ノ類　尾張国知多郡

高シロ　ナツコメ

中国譜志　一

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

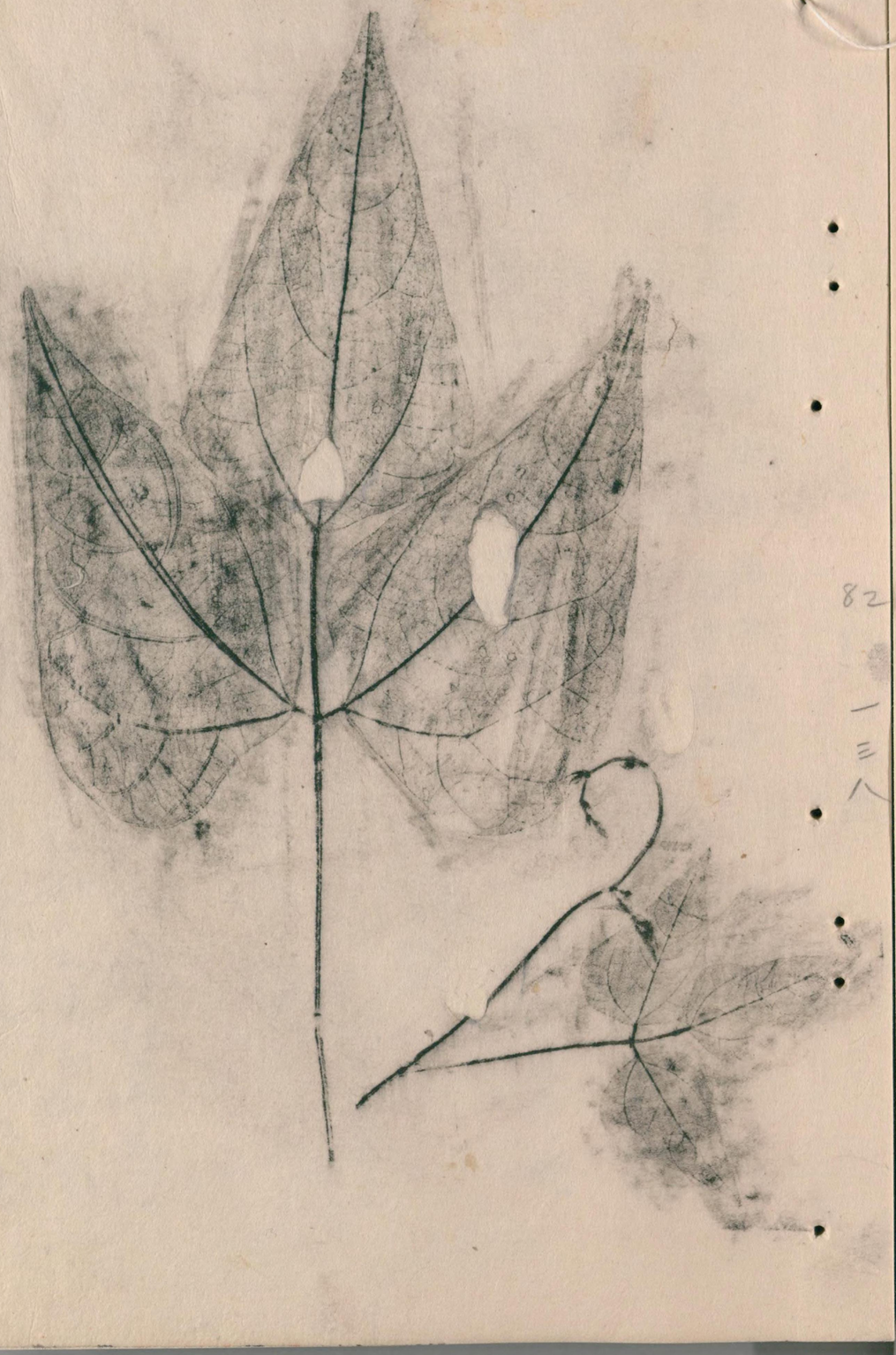
ガラス使用


芝咲堂居安
看按蒲團窗
陽沽尽茶
肥

駿洲君士
周茅句

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用



82
一三八

雑史雑記

○豆花

凡ソ豆類ハ開花數多キ者ト雖モ
モテノ外形ハ蝶形ノ風致ヲ
知ラズ其ニ引キ咲ノ科ト
異ナル黄豆黒豆ハ
世俗ノ大豆ト云ヒ黄大豆ニシテ

[illegible]
[illegible]
雑辺栄五衣

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

黄豆　磨汁作腐菜兼嫩時可瀹食　畿輔通志

大豆　廣雅同菜也有緑褐烏三種説
曰大豆炒與豬肉同食令人壅氣至死　畿輔通志

豆花初放晩凉凄明
皎勾業選卷九年　王伯綱勺

黒豆　有雄有雌雌者長大而暗雄者圓小而明　畿輔通志

大小豆撰種法

大小豆は必らず三粒の莢を種とすべし其中粒と云ひて収穫多きものゝ又肥地ふ中手小豆を作りて良し晩手ハ出来過とゝり却て利なきものなり　明治十六年一月二十七日農業雑誌

大豆（ダイヅ）　豊後岡邑にて穭豆也陽ゐ一国若こ宜大河ゾ最上ト云
丹後岡部黒大豆両ゐ上ノ山同最上黒大豆陽ヒテ

大和ナリ摂州河内（カハチ）ノ金剛山麓切豆ト云ヒ
石川青豆内ト青シ金沢ノ陽（ヒナタ）ノ方ニ成ル西ノ方
青豆同ニ傳播大豆同小豆ヒモ盛豆ト云ヒ

イトウ豆

霰豆腐

豆腐大さい〻切莭塩ら〻く砕きとうこゝはさて
油ゝて揚る

料理珍味集三

〇行歩停ホ〻第ゝて物を深ゐるそこまて
さきて書て二七上を拗ゝまそ
梅ゐをまゐ内豆をゑゐ浪し
此雫(しづく)ゐそよくらそ布のゐ
石灰ゐ〻ゐ重し色黄むこ
きゐるゐゐ〻も盛附様(もりつけやう)
ゐ〻ゐ

烏嘴豆

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

支那人殊ニヌメノ赤ミヲ黄ミニ立ル人
和名清ノ深同書ノ味ヲ銀線粉
雞方器、青井？豉井水汁清ノ如キ
大豆黄卷ニシテ本條豆醬ヨリ
造井泉ヲ府老ヲ多ク茶ヲ
製法

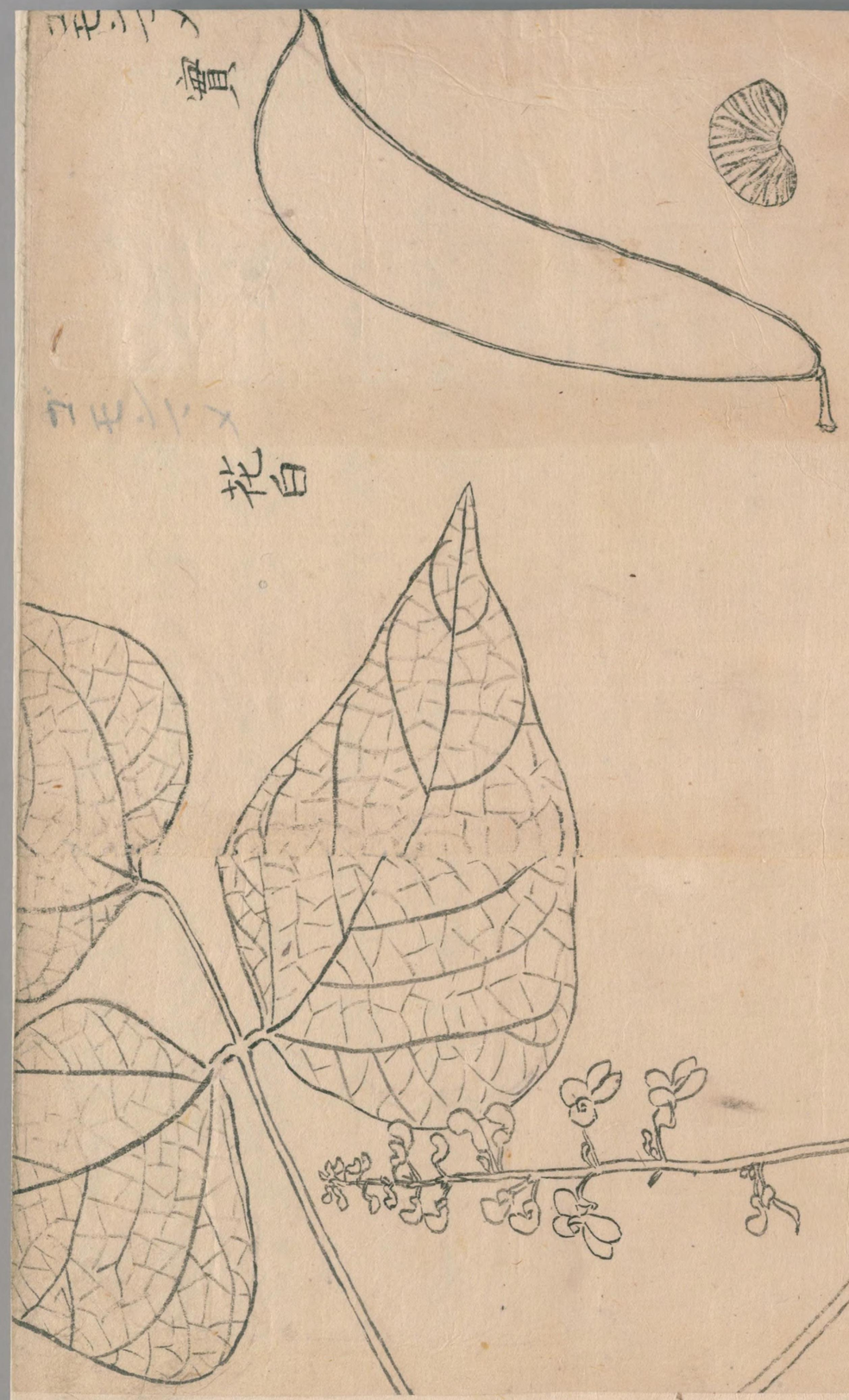
豆井ヲ油ニテ熱煮ス
隋園食單ニ豆芽素菜院藏
ノ極メテ賤キヲ以テ極テ貴キニ
喰フト云ヘリ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

豆芽

豆芽柔脆余頗愛之炒須熟爛作料之味才能融洽
配燕窩以柔配柔以白配白故也然以極賤而陪極貴
人多嗤之不知惟巢由正可陪堯舜耳

隨園食單



82

豌豆（えんどう）

見于諸
草類

御膳豆　一名 沙 豌豆

小沢翁多稚之菜茎与黄大豆相同其豆正円比
之黄大豆則稍大也煮熟食之味最甘美

掌種物之法

掌種物之法

水煮小豆法

第二個月後ニ
去根養之不久多
出鶏冠花

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

● 炒豆治灸痛一

牛込戸桂寺門前ノ中島元吉ト云者ノ地守六十餘ノ男子背俞ニ灸ス火肉ニ付テ焼入リ痛楚堪カタク水ヲ浴ケトモ消ス或人教テ炒豆ヲ嚙テツケサスルニ立処ニ火消ス痛モ止ム灸スルトキ豆熬ノ製スルイハ灸点ヨリ血出ルイアルニ敷レハ血ノトマル故ニ古ヨリカクスルイナリ然ルニ肉ニ火ノツキタル迫治スルハ奇特ノイヒト屋代輪池翁ノ語ラレシト實ニ享和三年癸亥五月八日ニト云 拾古新語

白果青核時間考七里カウバシ佐洲崖山ニ多シ大豆ヨリ微大キリ 紅ノ緑實

ソキ黒色ニシテ香シ是モ大豆ヨリ微大キリ

ツキヲス 先年東都産物会ニ出ル陸奥名産青皮粉ハ白キ

五多許塊リ蘭山先生ニ愛ヒ粉ハ未知又ハチニヤ未詳

葵豆 一名コウモリマメ カイマメ ヒキリマメ 洞系 琉球ヨリ来ル

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

ニメ

大豆

和名ニ大豆ト呼ハミソマメノコトニメ莢大豆や菜豆ニ大豆ト云ハ皆黒大豆ニテクロマメノコトナリコレニ蛾雄アリ長大ナルモノ雄豆ト云菜用ニ良ナリ

クロマメ　鳥豆

ゴイシマメ　雲鳥豆　本草彙言　ハチブマメ水戸

シロマメ　莢大豆　ミソマメ

ゴゼンマメ　サトウマメ　白大豆

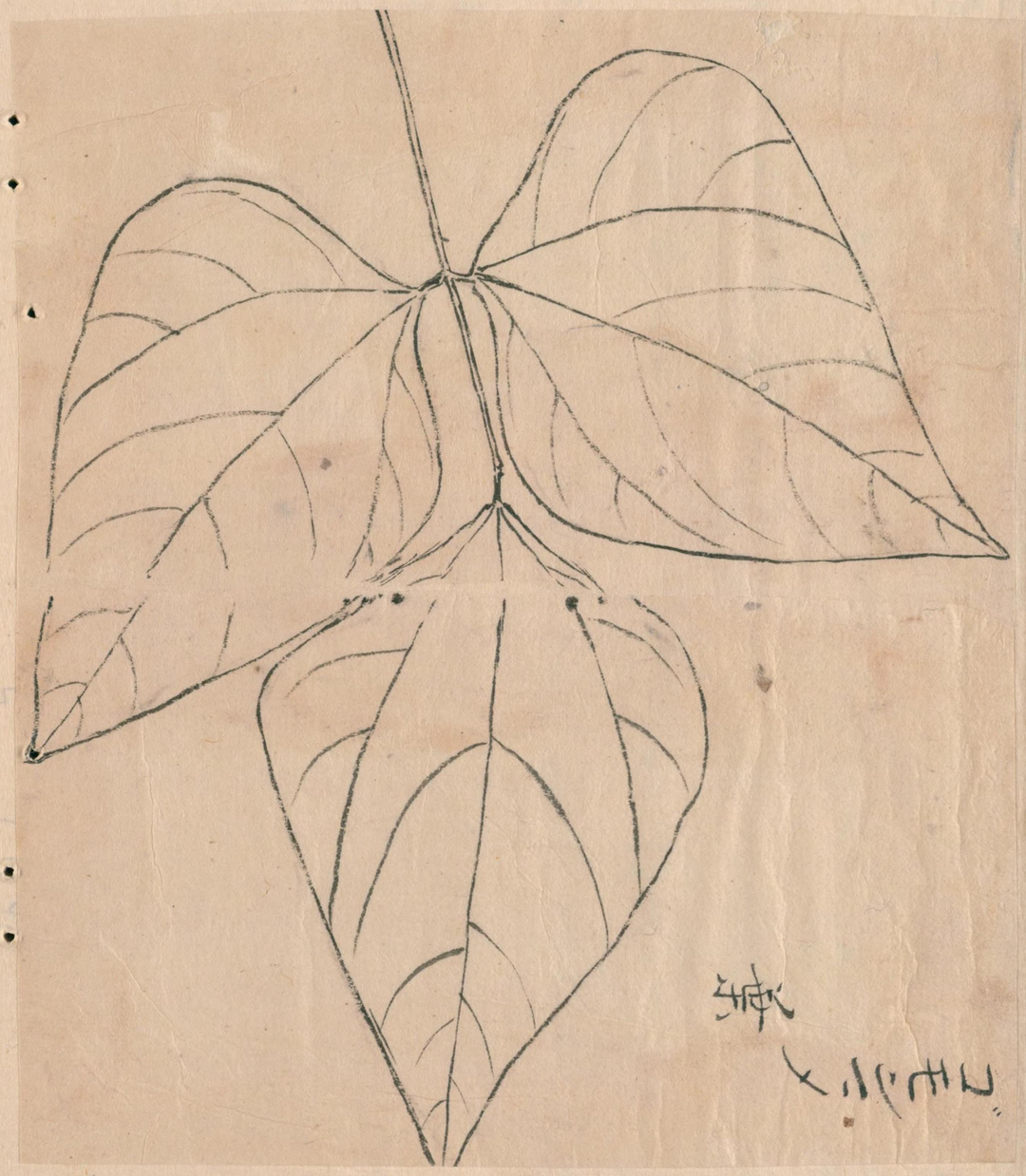
莢豆ヨリ大ニメノ白シ

クロシマメ　ニハヅメ

チヤマメ　クリマメ

ササゲ

ボラン



国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

黄豆苗　即黄大豆

マメ　ダイヅ　ミソマメ

俗ニシロマメト呼ベトモ色ハ黄色ヲ帯フ故ニ唐山ニテ黄豆ト云

白豆ト云ハシロアヅキナリ黄豆ニ六夏秋ノ二種アリ早熟スル者ヲ

夏マメト云粒小ニシテ下品ナリ故ニ豆腐ヲ製スルニ用ユ因テ

トウフマメトモ云漢名梅豆月令一名半夏黄楊別録五月黄

六月爆共天工開物又秋ニ至テ熟スル者ヲアキマメト云粒大ニシテ

上品ナリ味噌ヲ製スルニ用ユ故ニミソマメト呼ブ漢名鼓秋豆

症治要訣一名九月豆綱目存志冬黄天工開物豆油ハマメノアブラ深家ニテマメ

ノゴト云染物ノトメニ用ユ醤ノ條ノ豆油トハ別ナリ

オクテマメ

クラカケマメ

チヤマメ

コンチヤマメ

ヒラマメ

シロマメ

オホマメ

ナカテマメ

大豆

豆象雖著秋莢不見

褐大豆　茶褐色ノモノ
アヲテメ　アヲハダ　錦ー
アヲバル
青大豆　大ニメ色青キ豆
アヲテメ　色浅キモノ青皮豆　撥時通ヲ
カゲテメ　錦ー　白黒暈　江儀ケニ有
色浅ク銀杏ノ色ノ如キモノ
コシリンザイ　アヲヤギ　依ー
内裏青　大倉州志　ズイアヲ
キンコテメ　茶青　撥附通ヲ
ウヴラテメ　キジテメ　斑大豆　同少ニメ赤小豆ノ如シ
クロウヴラテメ
アカウヴラテメ　ニバリウヴラ　以上品ヲノナリメンテメト云

クロクラカケテメ
ヤロウニメ雪ー　ケニサイテメ　ミレキテメ
烏眼莢　撥附通ヲ
アカクラカケテメ　ハラゴ
白色ニ赤キ鞍斑アリ
シロクラカケテメ　黒ニ白キ鞍斑アリ
以上皆斑大豆ノ屬ナリ
ハラキリテメ　赤色ニメ横ニ皮ノワレアリ
テツホウテメ　白黒二種アリ
クリテメ　大ニメ円果栗ノ如シ
カンクヒテメ　ゴハテメ　サウニ　カンテメ
トロクスンゼンノ庵　黒色ニメ莢長クス
豆カキテメ　白ト青二種

茶クラカケニメ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

八月ニテ　青ボン　ボンテメ

八月下旬ニ熟ス　豆腐ニ制ス　コサルテメ

○秋後莖葉ニ小コカ子ムシヲメツリ

○餡飯豆蜀早ク多ク生ス　陽ヲ向ノ中ヘ蓋ニ一寸餘ノ大穴ヲ

テン掘ヲテ豆蜀ヲ宛キ入ル也　仕ノ言葉ニテ石壌

向ナル前ニテモ間ニ合フ

Beany 班　Bean ソラマメ　茎ヨシ

Pea インゲン　ソラマメ　エンドウ

エメノモヤシ　何豆歟

チヤメ

菜豆　クロメ　黒豆　ソラマメ　蚕豆　白豆　シロマメ　野蚕豆　アヲマメ　ソラマメ　ヲ

ノ用アリ　考　ナド白大豆ノ

大和本草神

大豆　總名ニ大豆ト挙ルモノニ京デ大豆ト云ハ黒大豆ニ

マメノナニヽ本綱ニ大豆トヽハ黒

夏豆ヲ梅豆ト云月令通考

秋豆ヲ報秋豆ト云症治要訣

黒大豆ヲ鳥豆ト云雌雄アリ丸ク少サキモノ雄ニ茶用

ニヨシ扁タキモノ雌ニ黒小豆ト云ハ穭豆ニ後ニ出ツ

栗豆ハ紫ノカツモノモアリ褐色許リノモノモアリヒ

ハダ豆或ハ菜ヲ豆ト云本綱ニヽ云褐豆ナリ

ウヅラ豆黒豆ニテ細キ白キ班アリ蒭麻（トウゴマ）実ノ色ノ如シ

ハツキリト分ル編納豆ヒ云又赤鶏豆ト云アルニヨリ
黒鶏豆ト云赤ウヅラ豆ハ赤クメ白キ斑アリ此皆本綱ニ
云斑豆ニ
豌豆ハ白豆ニメ真中黒シ此ニモ赤クラカケアリ

凍豆腐

和名コホリドウフ

醒園録凍豆腐法霜冬天所凍候
次年氷化盡入文磁甕内埋背陰土中到二六月取
出會食真佳品也

コホリトウフハ紀州高野山ノ名物ナリ製法
和漢異ナシヒ凍豆府トスベシ　山品考

大豆ノ類　尾張國中島郡

高キツル　七合　ヒキツリ　ミツボサヤ
大葉ホソリ　ウク　福モリツル　中國譜志一

黒大豆類　尾張國中島郡

クワシマメ　ヒワラダ　大ナリ　中國譜志一　平田

青大豆類　尾張國中島郡

タチアフヒ　ハイツル　中國譜志一

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

ハツキリト分ル編緬豆氏云又赤鶉豆ト云アルニヨリ
黒鶉豆ト云赤ウヅラ豆ハ赤クメ白キ班アリ此皆本綱ニ

云班豆ニ

鞍掛豆ハ白豆ニメ真中黒シ此ニモ赤クラカケアリ
白豆ニメ赤班アリ一名ハラノゴトト云又黒メ白キ班ア
ルヲ白クラカケト云此皆班豆ノ一種ニ

穭豆此條ニ云ハ穭豆ノ支ニ非ズ野豆ノ方ノタンキリ
豆ヲ云ニ又巾着豆狐豆氏云野豆俱ニ本綱ノ鹿藿ニ收
荒ノ豌豆モ同ニ此処ニ引ハ悪シ本綱ニ穭豆トハ黒
豆ノ形ノ至テ小サキモノヲ云黒小豆氏云此ニモタン
キリ豆ノ名アルユヘ混ノ野豆ノ方ヲ出ス野豆トハ収
大ニ異ニ菜子豆ノ名モアリ今菜ヤニシヤウセンヲ
以テ附ケ並テ出スモノニ色黒キモノ穭豆ナリ

黒大豆類　尾張国中島郡　平田

クワシマメ　ヒワラダ　大ニ

中国譜志一

青大豆類　尾張国中島郡

タチアフヒ　ハイツル

中国譜志一

凍萩　施學韓
梅ヨリドウク

食豆食真乳其味真不俗又須風雪天寒凍
成玉爾氣盡滋陰烹煎隨所欲朝来城東路
一笑紛滿目物輕便元廉但覺水林濶人家
ヤヒリ我土又多其真定者

大豆類　尾張國海東郡

天ノ川　小ツボ　ミツボサヤ
リウセン

大ツブ　中國譜志　一

黒大豆ノ類　尾張國海東郡

大ツブ　中國譜志　一

青大豆ノ類　尾張國海東郡

大ツブ　中國譜志　一
小ツブ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

所漸輪斬流 巻三十九ノ十下

凍萩紅　施學韓　梅ユホリドウウ

食豆食真乳其味真不俗又須風雪天劇凍
成玉膚氷盖滋陰烹煎隨所欲朝未城重遊
一笑紛滿目物軽便元廉但覺水淋漓人家
少此利我萩野芳爾破睡花叢宴旋磨
聲數々荒街十字斜茅舎一燈獨下看無眠
淵有若馬酒熟撒紅歯汁重麼麼光漿芝
笑比女妃膚茅軟新味活滋南真仙物饌

豆類　尾張国海東郡

天ノ川　小ツホ　ミツボサヤ　中国語志一

リウセン

大ツブ　小ツブ　中国語志一

黒大豆ノ類　尾張国海東郡

大ツブ　小ツブ　中国語志一

青大豆ノ類　尾張国海東郡

大ツブ　小ツブ　中国語志一

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

法傳實屬至今服玉方可以養老倦腹呼儘
攜籌籃買來往來速恰好當喜冬天充
已飛空間雲頭不流預結一冷局施生發然
艱急得眞吾口腹解事有廚娘檐端富
幾宿不愁風裂陽正要冰融琢晶瑩凝光晶
曾起皎殼堆案巖方洼獨年利發兒

一五四

大豆

[拾遺] 物名高岳相如

そやまめ いさりせ

ヤシ俗よりやすと云ふ同しまてあざ
有といふしいむくさのなりそやまめとおなしそえるなり

そやまめ マメノモヤシ 和

大豆 シロマメ 枝マメ 豆白黒青褐黄ホリ 角ヲ曰莢名藿萁曰萁

ヤーまめ

かアフヒマメト呼フ

[拾遺] 物名高岳相如

そやまめ いさりせ

ヤシ俗よりやすと云ふ同しまてあざ
有といふしいむくさのなりそやまめとおなしそえるなり

そやまめ マメノモヤシ 和

大豆 シロマメ 枝マメ 豆白黒青褐黄ホリ 角ヲ曰莢名藿萁曰萁

ヤーまめ

かアフヒマメト呼フ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

法傳實扉至今服玉方可以養儉腹咽喉
攜鈎籃買取往來速恰好當暑冬天充
已飛空間雲頭不流預結一冷局施生業然
韓魚猶眞吾口腹解事有廚娘檐端當
幾宿不愁風裂陽正要冰融琢晶々凝光晶屑
曾起紋轂堆案儼方珪觶手如利錄悅
口自清腹饌妙若馥凍痕若蜂窠眞味勝
膳肉清可飫醋甘爲蔗杏酪酥融因思和羹手
難更讓所貴得其時最忘趨奚獨物性苟來
猶從自偽覆餘書生進一餐猶當宴客況

大豆

[illegible]勒豆ト云法江府志三十六卷ニ見ヘタリ
一莢形天ミヲ向ノ細長アリテアフヒマメト呼ク
ヤマアフヒマメト呼ク 大豆 シロマメ 枝マメ 豆ニ白黒青褐黄赤アリ
そやーまめ マメノモヤシ 角ヲ曰莢 葉名藿莖曰萁

拾遺 物名高岳相如 いさりせーあまのへーつくそやしまめく
そやーまめ
ゐて有とゐしへ俗よゐやスとそゐ同じなまてあざ
むくやうのゐもてもやーまめとおゐゑそえゐび
りやーまめハ其莳ときろあるよりこしてりえーむうあさむくえろり

名井

大豆ノ類　尾張國春日井郡

ミヤ　ホタ　葉トラス
エダマメ　バントウ　ウチサヤ
大坪　葉ツル　ヨゴシ
青コツル　モリ木　ツルマメ

黒大豆ノ類　尾張國春日井郡
大坪　クラカケ　コツル
小粒　黒サル　中カラ

青大豆ノ類　尾張國春日井郡
アカハタカ　コサル　サヨ

水クリ
中八月
大ソコツル
クリサヤ
中國譜志　一

大坪黒
中國譜志　一

中國譜志　一

82
二五一ノ六

82
一二五

御膳
きぬがさ
笹の雪
根岸新田
二軒茶屋

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

茅店雞聲板迹霜最憐敲乳曉成漿更看點就鹽梅
手不羨蓬壺軟玉方豆腐歲焉將盡遷寓舘慰藉老夫因以槐堂先
生迎作詢之秀才便誦先生食豆腐絶句予過當飯
亦有凍腐冬蘿之薦輒亦漫成四首

又

凍腐冬蘿各稱才聊能瓦缶一鳴雷當餐笑語沙鍋

製ス家ハ湯ヲ用ユ
腐傷ヤスキノ冬ヨリ
不ニ拘製ホヲ之ヲ
白金瑞聖寺門前角
唐豆腐乾
美濃屋吉兵衛
本製ニ倣ヒ精ヲ
別一切ヲ
ハ十ヲ

豆腐半丈

筠廊偶筆云明末有
子至色鬚髯有自稱
祖二十八子十九孫
生矣世事
豆

三斗寒溷活火攻傾筐喜見玉光融無邊世味酸醎外有限
交情水乳中論價寧教奴輩等顧名端與我曹同笑他膩禺
腥歟裹肉食何人識此風

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

濱名

唐納豆 摩訶耶寺

濱名

唐納豆 摩訶耶寺

松山御用

御豆腐製所

納豆製江国智部日本於設要二

一休大和尚制作
山城新村 時恩養納豆

蔚納豆

西域輸新得 巻三六ノ廿七丁
豆腐
祝宣

傳得淮王術最神碓舂屑光勻
數氣少許色美味十載之窗有設人
蜀致融香宜醉盞 呉鹽散雪合西浴
脊醲錢偶熟傳客勧飽歌居然
勝八珍

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

濱名

唐納豆 摩訶耶寺

濱名

唐納豆 摩訶耶寺

濱名

唐納豆 大福寺

納豆 近江国 醍醐 日本地誌提要二

雨啉軸新浪 巻三六ノ廿七丁

豆腐

傳得淮王術嘗神碓舂成屑

數家小市無鹽味十載之窗有設人

蜀豉融香宜醉酒 呉鹽散雪合烹沈

脊醸錢偶逢傳客 勝八珍

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

大豆之類　尾張田丹羽郡

大ツボ　ザコ　グヽリンソ・オクボント
ツルバント　シロ花　青ヤ次郎　サカウ
ハバントウ　時シラス　ミヤ　オラント
ヤコト　コマキ　白花バントウ　中國譜志一

黒大豆之類　尾張國丹羽郡

スルスミ　ヒラ　コガラサヤ
中國譜志一

緊急廣告

御茶席用

一大日本　三島豆　鑵詰、折詰、袋入
此外御進物用種々

本舗　三島治兵衛製

此ノ三島豆ノ儀ハ本舗三島主人多年ノ
間ダ工風シ丹精ヲ凝ラシ初メテ發明スル
ノ佳品ニシテ（大日本三島豆ト云名稱
ノ）商標専賣ヲ得タル事世人ノ能ク知ル
處ナリ第二回内國勸業博覽會ニ出品シテ
褒狀（賜ルニ至ル爾後各國エ販路ヲ擴
張スルニヒ近頃世上ニ類似ノ品ヲ製造

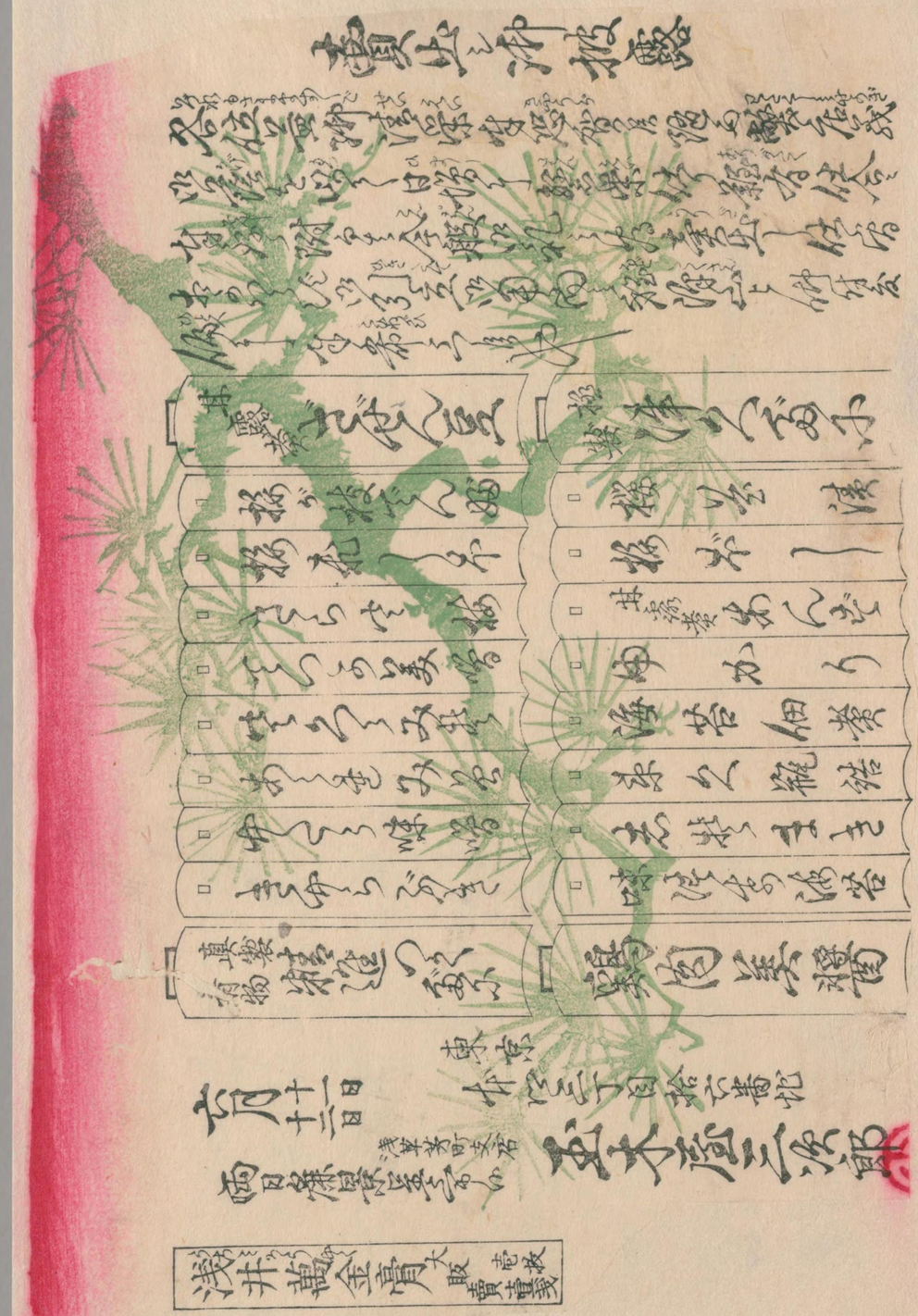
国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

菜種油 常陸国
石岡町
新治郡
土浦
日本地誌提要ニ
一五七ノ上ノ

此ノ三島豆ノ儀ハ本舗三島主人多年ノ
間ダ工風シ丹精ヲ凝ラシ初メテ發明スル
ノ佳品ニシテ(大日本三島豆)ト云名稱
ノ商標専賣ヲ得タル事世人ノ能ク知ル
處ナリ第二回内國勸業博覽會ニ出品シテ
褒狀ヲ賜ハルニ至ル爾後各國ヱ販路ヲ擴
張スルニ近頃世上ニ類似ノ品ヲ製造

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用



シ種々ノ名稱ヲ附シ甚ダ敷キハ**粗惡**ノ品ヲ以テ同名或ハ類似ノ名稱ニテ販賣スル者モ有之趣キニ付キ眞贋ヲ篤ト御注意ノ上御購求アランコヲ乞フ從來弊店ハ本**舗**ト特約シ當縣下及ヒ岐阜三重等ノ一手販賣致シ居候間可相成丈安價ニ差上可申候事ニ付四方ノ諸君子方卸シ小賣トモ多少ニ抱ハラズ御用向キ被仰付度偏ニ奉願上候也

三島豆縣下
一手販賣店

御齒磨
樓散本舗

名古屋市上長者町五丁目

渡邊卯助

販賣

豆腐一名
穀乳 甘涼清熱潤燥生津解毒補中寬腸降濁處處
能造貧富攸宜洵素食中廣大教主也亦可入葷饌冬月
凍透者味尤美以青黃大豆清泉細磨生搾取漿入鍋
點成後嫩而活者勝其漿煮熟未點者爲腐漿清肺
補胃潤燥化痰漿面凝結之表揭起晾乾爲腐皮充飢
入饌最宜老人點成不壓則尤嫩爲腐花亦曰腐腦搾
乾所造者有千層亦名百葉有腐乾皆爲常看可葷
可素而腐乾堅者甚難消化小兒及老弱病後皆不宜
食蘆菔能消其積由腐乾而再造爲腐乳陳久愈
佳最宜病人其用皂礬者名青腐乳亦曰臭腐乳痃癖
黃病便瀉者宜之生搾腐渣炒食名雪花菜熟搾者
僅堪飼豬

豆腐泔水浣衣去垢一味熬成膏治瞼瘡甚效

休息久痢醋煎豆腐食

杖後青瞳切豆腐片貼之頻易或以燒酒煮貼色紅
即易不紅乃已

隨息居飲食譜 乾

製ゑ売ひ猫電所山
唐傳生傳ゑ生ゑ平
不ゑ給袋数和ゑ人中ひ

白金瑞聖寺門前角

唐豆腐乾

美濃屋吉兵衛

本製ゑ傳生私方分
外一切売傳ゑ無ゑ
店ひ十ゑ

製ゑ売ひ猫電所山
唐傳生傳ゑ生ゑ平
不ゑ給袋数和ゑ人中ひ

白金臺町

唐豆腐乾

清壽軒

本製ゑ傳生私方分
外一切売傳ゑ無ゑ
店ひ十ゑ

御膳

座禅豆所

梅ごうえでん蜂

梅の香　丼露梅
さゝら梅　梅おかし
大根さゝらみそ　第一味仁代みそ

浅草御蔵前茅町二丁目

玉木屋七郎兵衛

御膳

座禅豆所

梅ごうえでん蜂

梅の香　丼露梅
さゝら梅　梅おかし
大根さゝらみそ　かうせんみそ

日本橋通十軒店

玉木屋吉兵衛

元祖

座禅豆所

人形町

長岡屋彦次郎

丼露茶漬　丼露梅
雲丹茶漬　梅味噌
梅ごうえでん蜂

御膳

金御湯豆製所

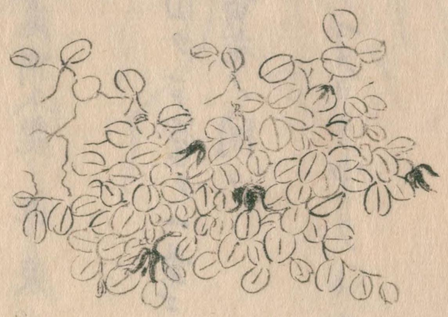
上野廣小路
御橋内西側
岡田屋五右衛門

ほし折詰御重箱
真の味噌
汁好次第

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

ベニバナ



製之者ハ福壽印ノ
商標ヲ附セサルモノヲ
ハ絶對ニ御買ヒ求メ
ナキヤウ願ヒ上ケ候

白金瑞聖寺門前角
喜豆貴菊元

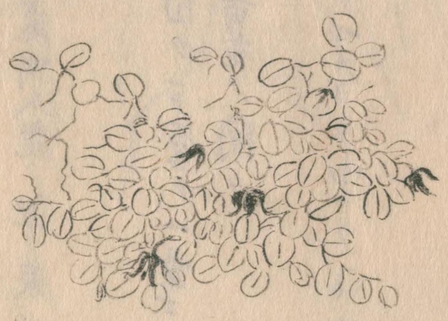
福壽印
喜豆貴菊元

市ヶ谷田町三丁目
㊥藥種砂糖所
中佐野屋八五郎

陽丈ニヨイ豆腐乳薬ノ如
通常ニ食ヒ過ヨウナ事ハ
ナイ一回ノ乳ヲ二ツ切ニ
切リ私ニ書キタルモノヲ
食ベルニ通ジ薬ヲ用ユル
ニハ豆腐ヲ二ツ切リカヤ
ノ如ク切リ白湯ヲ加ヒ白
ヨリ煎ジ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用



製之家ハ摘置所ノ
番僕ニ至ル迄ノ者ハ
悉ク給製致おり候中ニ

白金瑞聖寺門前角
唐豆腐乾
美濃屋吉兵衛

本製之儀ハ私方ノ
外一切ニ無之候間
御間違ヒ被下間敷候

御歳玉
福豆

市ヶ谷田町三丁目
中
薬種砂糖所
中佐野屋八五郎

湯豆ニヲイ豆腐乳茶ノ汚
通常豆腐ヲ食ト違ヲ西京ヲ
元ニ風ノ気ヲヤリ外ニ焼豆腐
香リ抔ニヒキ外ルモノニ風薬
食ニ成ル而極薬
方ニシテ皆ヤ清ニ月

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

山中樹陰ニ生ス　尾州入鹿ノ池ノ東ノ洞ノ入口ニアリ

変解（ムギラン）ノ類ナリ　葉四ク〻ニテ重ク一葉ゴトニ根ノ生ジテ樹陰ニ粘着ス　芒種前後淡黄花ヲ開ク

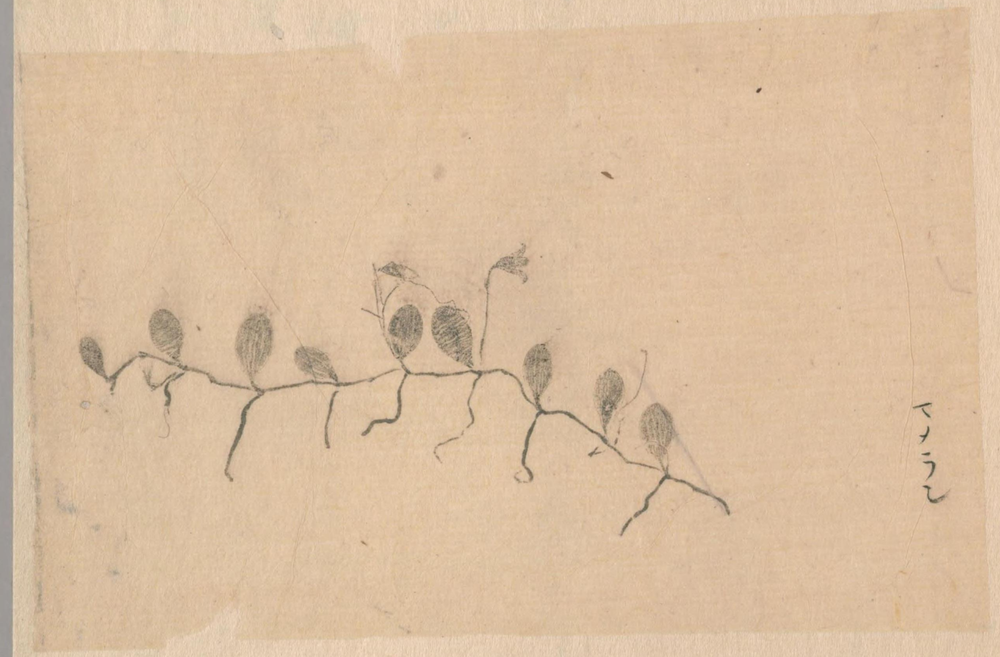
又曰コメラントモアリニメヨリ少ナリ　如此物ヲキテアルナリ故ニコメラン

此図ヤハリマメランナラズヤ尚可考

コメラン　ヲ見ル　マメラン　ヨリ小ナリ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

マメラン

蝶鬘草 マメゴケ

山中樹皮ニ着キ生ス
ノ池ノ東ニモアリ
或云マメランハ此一種
ニシテ尚小ナリ
○ 如此モノ着リタル表ト

表解ノ美キリ尾州

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

螺靡艸一種

マメラン

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

82

ニメラニ

山中ノ大石ニ纏フ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

○てめらん

82 一六八

草　樹皮ニ生葉てめごケニ似テ小徴長一葉ゴトニ一根ヲ生ス枝後葉間ニ花ヲ開クヿ三弁淡黄色

豆蘭

善鬼山ニ産ス樹枝ニ着青白色糸ノ如キ蔓ヲ引葉互生ス形状螺厝草ニ似テ厚ク堅シ黄緑色ニシテ細長也五月葉間五分許ノ糸茎出テ末ニ一分許ノ三瓣淡黄花ヲ開ク花ハ葉四時ヲ蔓

和州吉野郡中物産之ヿ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

○マツオホゲ　キマツノダケ

松樹幹ニ生ズル菌ナリ
味噌汁ニテ煮食テ腹痛ヲ治スル効アリ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

マヒサギ

ダイサギサウ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

マヒサギ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

大鷺 秩父

二十サギ 遠州　大ツレハサギサウ

遠州中郡宮口村不動ノ池ニアリ葉中廣ナリ

82
234-1

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

マヒサギサウ

大サギサウ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

○てとサギ　　ダイサギサウ

遠州中郡濵松在ニ産ス葉濶ク小尖リ周辺ニ白キ
莖高サ

識名ヲ葉間ノ房サニ天金ニ至リ赤花ヲ開ノ形サギサウニ似タリ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

Pla

ヤガテ五十種ニ達スヘシ

苗科

百ニアリ

82

一七七

○マツバノリ

薩州

五九 マツバノリ 大

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

胡枝子一種 一ニキ卫ハギ

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

Leguminosæ

Lespedza Japonica

Lespedza Japonica

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9
ガラス使用

ヒメハギ　同ソマキエハギ

岩淵寺内図

○マキエハギ　コハギ　ヒメハギ

胡枝子一種

82

六十　マキエハギ

胡枝子ノ類
三キエハギ
花白

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

マルバノヒトツボノロ　日光

葉ノ縁ニ微長（かす）ナル毛條（すじ）アリ

莖ヲ抽（ぬき）テ五六寸紫色ノ数花ヲ開ク六七月

勿致忘祥

82 八ノ一

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

82

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

六三 マドスゲ 苔中科之

82

一八三

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

三マンテマ

82

一八四

石竹科

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

十六三下

松葉ノリ　浅松作

82
一八六

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用

六四

Portulacca grandiflora.

スベリヒユ科

土綱一目馬歯莧科

スベリヒユ科

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

Portulaca grandiflora.

82 一八七

土綱 目 馬齒莧科

奥ノ方迄ホシ上リ北海ニ
出航品ヲ直ニ受取リテ
気アリテ宜シ
又水ニテ洗ヒ三亜酢ニテ食スルモ
宜敷身ノケヲ去ルニハ至極
味ヨリ

マツリト別物ナリ

葉ノリ　松葉牡丹

82 一八六

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号　本別6-9

ガラス使用

マツバボタン

国立国会図書館　タイトル『植物図説雑纂』　請求記号 本別6-9

ガラス使用